

東日本復興支援コンソーシアムが第 2 回報告会を開催

～ 北陸の企業が南相馬チャンネル初の CSR 広告スポンサーに！ ～

東日本復興支援コンソーシアム（会長 南相馬市長 桜井勝延）は、平成 25 年 2 月 21 日（木）、福島県南相馬市ホテルラフィーナにおいて、東日本復興支援コンソーシアム第 2 回報告会及び現地視察会を開催し、役員、会員企業等 15 名が出席しました。

冒頭、桜井勝延会長が、「南相馬チャンネルは、一昨年の 7 月 20 日から、一年半にわたって実験放送を行ってきたが、東日本大震災からの復興に対する皆様の支援、さらには、ホワイトスペースを活用した地域のエリア放送を発展させたいという被災地の強い思いにより、本日、本放送を開局することができた。今後、南相馬チャンネルは、エリア放送とインターネットを通じて、あらゆる地域でアクセスすることが可能になり、全世界に情報発信することができるメディアになった。」と挨拶し、続いて、田中幹夫副会長（南砺市長）が、ビデオメッセージを通じて、「これまで支援の呼び掛けを行ってきた結果、この度、北陸銀行が第 1 号として CSR 広告を出していただくことになり、本当にうれしく思っている。今回の広告には南砺市の子供たちも出演している。また、南砺市所在のアニメ制作会社のピーエーワークスが子供たちの笑顔をアニメ化した場面も出ており、北陸地域と南相馬市との大きな縁を感じている。私たち自治体は、これからも、被災地の復興に向け連携して取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

続いて、齊藤一雅顧問（総務省北陸総合通信局長）が、ビデオメッセージを通じて、「振り返ってみると、南相馬チャンネルの事業は、本当に沢山の人が関わって、作り上げてきたプロジェクト。そして、今や、すべての被災地のモデルになるような、そんな大きな存在感と輝きを放ち始めている。南相馬チャンネルを通じて、一日も早く被災者の方々が故郷に帰還される、そうした動きにつながっていけばいいし、世界中から技術やアイデアを呼び込んで、復興の力にすることができれば素晴らしい。この度、南相馬チャンネルに対して、北陸銀行が CSR 広告を出稿されたと聞き、本当に素晴らしい。復興には長い時間が必要。だからこそ、コンソーシアムの会員企業の皆様には、本来の事業活動を通じての貢献ももちろんだが、今後は、コンソーシアムの公式サイトに CSR の動画広告を出稿していただく、そうした貢献についても、ぜひ前向きにご検討をいただきたい。」と挨拶しました。

引き続き、コンソーシアムの事務局を担当する一般財団法人東日本復興推進財団の鈴木和男代表理事が、1 月 30 日にコンソーシアムの公式サイト（東日本復興チャンネル・アーカイブ）【URL：<http://www.2011-311.com/>】を開設したこと、株式会社北陸銀行（取締役頭取 高木 繁雄）が南相馬チャンネル及び公式サイト（東日本復興チャンネル・アーカイブ）の第 1 号の CSR 広告スポンサーになり、CSR 広告番組を本日（2 月 21 日）から、南相馬チャンネルで放送するとともに、東日本復興支援コンソーシアム公式サイトに掲載することなどを報告しました。

報告会終了後の現地視察会では、南相馬チャンネルの送信所及び被災地の現地調査を行いました。

（参考） 北陸 ICT チャンネル No. 16 東日本復興支援コンソーシアム第 2 回報告会へのビデオメッセージ

【URL：<http://www.youtube.com/watch?v=VHPhaQ8kyHU&feature=youtu.be>】



南相馬チャンネルによる、被災地情報の世界への
情報発信に期待を述べる桜井勝延南相馬市長



ビデオメッセージにより会員企業からのCSR広告
の出稿を呼び掛ける齊藤一雅北陸総合通信局長



報告会終了後、現地において南相馬チャンネルの
送信設備を視察

問い合わせ先：東日本復興支援コンソーシアム

事務局（一般財団法人東日本復興推進財団）03-5117-2900

：北陸総合通信局

情報通信部電気通信事業課 076-233-4420